特定非営利活動法人「うりずん」からの便り

2013.10.20発行

うりずん通信・テレマカシー

第７号

URIZUN

うりずんとは…「潤う」と水が土にしみとおる「染む」からなる言葉で、沖縄の若夏をあらわします。さわやかな南風が吹き、野山は緑にあふれます。うりずんのようにやさしい風に包まれて、ゆったりとした時間を過ごしていただきたいという思いから名付けられました。

日光から鮮やかな紅葉の便りが届くころ
新米、里芋、リンゴ、サンマなど
秋の味覚がやってきます

作った人、獲った人、運んだ人にありがとう
食べるときは、おいしいね、と分かち合い
自然の恵みをいただきたいものです

いつもお世話になりありがとうございます
朝夕肌寒くなってまいります
お体くれぐれもご自愛ください

特定非営利活動法人うりずん
理事長　髙橋昭彦

認定NPO申請中

お蔭さまを持ちまして 3,000円以上の寄付×100人×２事業年度の基準を満たし、他の書類も整えて、現在、認定ＮＰＯの申請中です。この基準は、社会の人々から広く支持されているというＮＰＯの証しともなりますので、今後もクリアしていく必要があります。ご支援いただきました皆さま、本当にありがとうございます。引き続きご支援のほどお願い申し上げます。

チャリティ・ジャズコンサート

すべてが新鮮でした。チャリティコンサートに関わるのも、チケットを売り歩くのも初めて。本物のジャズを目の前で聴いたことがない私が、どれだけその良さをお勧めできたのかと思うと、お恥ずかしい限りです。しかし、9月22日、宇都宮共和大学 須賀友正記念ホールには、300名を超える人たちが来てくださり、会場はひとつになりました。素晴らしい演奏をして下さった、豊田チカさんと小山太郎トリオの皆さん、プロデュースをして下さった悠工房さん、チケットを購入して会場に足を運んでくださいました皆さん、主催の宇都宮共和大学Tinyの皆さん、ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。

大阪発達総合療育センター　船戸正久さん（中央）がうりずんを訪問！ このあとは、子どもたちと一緒に、ろまんちっく村の散歩へ同行。

りんたろうくんプロジェクト

今回のコンサートの趣旨は、一流のジャズを楽しみつつ、障がいについての理解を深め、障がいのある子どもと家族への支援の輪を広げることにありましたが、就学前のお子さんの入場を認めていませんでした。会場に入るには階段しかないこともあり、車いすを使う障がい児をお誘いするのは難しいと考えていました。

ある日、訪問看護ステーションゆりの木の三浦知津子さんから、人工呼吸器をつけた２歳のりんたろうくんと家族をコンサートにお連れしたいと相談がありました。呼吸器搭載の車いすは重いので、階段を安全に運ぶにはどうするか、電源の確保や吸引をどこでやるのかという問題もありました。しかし、ご両親は、「りんたろうのような子どもが、こうして家で生活していることを多くの人に知ってもらいたい」と希望されました。

私たちは主役のお子さんにこそ会場に来ていただきたいと思い、りんたろうくんをゲストとして会場に呼ぶプロジェクトを開始しました。何度も三浦さんとやり取りを行い、会場の下見を行い、障害者駐車場の確保、７段の階段をものともしない、気は優しくて力持ちのボランティアの確保、さらに会場の皆さんへのメッセージも用意しました。コンサートの直前、残念ながらりんたろうくんは入院されてしまいました。しかし、ご両親と三浦さんは来てくださり、会場でりんたろうくんの紹介もできました。会場には優しい空気が満たされました。大人の車いすユーザーの方も、ボランティアの皆さんのお蔭で、最前列でジャズを楽しむことができました。

次の機会には、りんたろうくんはじめ、お子さんとご家族にも来てもらえるといいですね。

フードバンクのチャリティウォーク

家庭で眠っている食品や、食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、食べ物を必要としている福祉施設や団体などへ無料で提供する「フードバンク」と言う活動があります。アメリカではすでに40年の歴史がありますが、日本ではまだ歴史は浅く広く知られてはいません。この度、フードバンク宇都宮では、11月９～10日、宇都宮から中禅寺湖畔までの 56.7kmをみんなで歩くチャリティイベントを開きます。チャリティウォークは、問題解決のために関心のある人を増やし、寄付を集める大切なイベントです。足に自身のある人はぜひご参加を、ボランティアやご寄付も募集中です。

●「チャリティウォーク 56.7」のお問い合わせは下記まで。
とちぎボランティアネットワーク　フードバンク宇都宮
TEL：028-643-1791　FAX：028-623-6036
Mail：tvnfoodbank@gmail.com
URL：http://567.jimdo.com/

夏季活動の報告

◀カキ氷イチゴ

シャワーで水浴び▶

水遊び中だぜぃ

今年の夏は、カキ氷、水遊びといったイベントが満載！ご利用者様には夏を感じてもらうという目標を達成することができました。氷や水の冷たさ、水の涼しげな音、かき氷を削る音、甘いイチゴシロップ。暑い夏を楽しくお友だちと一緒に味わうことができ、ご利用者様の嬉しそうな表情をたくさん頂きました！ **※皆様の温かいご寄付で夏期活動に使用した物品（カキ氷機、風鈴、水鉄砲等）を購入させて頂きました。ありがとうございました。**<(_ _)>

秋の活動が始まりました

最近は鈴虫が鳴いてまさに“秋”を感じる季節になってきました。うりずんの部屋の飾りも海に因んだものがたくさん飾ってありましたが、今では秋色に替わりつつあります。先日は十五夜ということで、ご利用者様と一緒にお月見団子を作りました。

お月見団子できたよ

また、外は風も気持ちよくお散歩日和。おいしい空気をたくさん吸ってろまんちっく村まで楽しいお散歩。うりずんにとってお散歩ができる時期は限られています。

秋は、外に出かけられる絶好のチャンス!! みんなで楽しく秋を楽しみたいと思います。

みんなで楽しもう～♪ うりずん X'mas 会!!

今年もクリスマス会を企画しています。大きな会場を借りて盛大に行いたいと思っています。

とき 12月23日（月・祝）

ところ **とちぎ健康の森**（宇都宮市駒生町 3337-1）

※詳しくは、うりずんまでお問い合わせください。

このクリスマス会を通して普段外出するのが大変なうりずんのご利用者様のご家族に楽しんでいただきリフレッシュしてもらいたい、ご家族同士が交流を深めて仲良くなってもらい繋がりをもってもらいたい、そんな素敵な会にしたいと思っています。

また、今回はうりずんの強い味方「Tiny」の皆様もお手伝いしてくださるというウワサも…。

その他にもボランティアにご協力いただける方大歓迎です。

クリスマス会での費用は、とちぎコープの助成金を使わせていただこうと思っています。

その他にも、プレゼント代や、食事代など様々な費用がかかると予想されます。そこで、皆様から日頃ご支援いただいているご寄付の中から必要経費を使用させていただきたいと思います。ご了承いただきますよう宜しくお願い申し上げます。また、参加者の皆様に配るクリスマスプレゼントも大募集しています。皆様の温かいご支援お待ちしています。

去年の夢の共演

尚、次回号には、楽しいクリスマス会の写真と一緒にご報告をさせていただきます。

うりずん役員紹介

● **名　前：** **吉川 かおり**（よしかわ・かおり）

● **経　歴：** 企業等に勤務した後、研究室秘書に。結婚・出産を経て、2003年より慶應義塾大学医学部にて柚崎通介教授（うりずん理事）秘書。今春、大阪へ転居のため退職。2011年の震災を機に、柚崎理事とともにうりずんを応援する（旧）うりぼうを発足。

● **尊敬している人：** 精一杯生きているひと。例えば、うりずんを通して出会った方々…ご利用者、ご家族、ご支援くださっている方々、うりずんを支える高橋先生やスタッフ、役員ほか裏方の皆さん。

● **好きな時間の過ごし方（休日の過ごし方）：** 犬のゆきちゃんや猫のまりりんと遊ぶ。海女さん計画を練る。（10代の頃から「老後は海女の修業をする」と宣言。老後も近いので。）旅先ではボディーボードが楽しみ。

● **うりずんに対する思い：**

これからも、ご利用者やご家族に安全で楽しい時間、安らぎの時間を過ごしていただくと同時に、ご利用者同士、ご家族同士から、スタッフ、ご支援くださる方々、地域の方々、まだうりずんのような場所が近くにない方、はじめてレスパイトケアを知る方々に至るまで、様々なひとが出会い、つながりが広がる場所、そして、それぞれが「希望」を感じることのできる場所であって欲しいと願っています。

日中一時支援事業（レスパイトケア）
サービス提供責任者　山元朋子

うりずん日記

日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。今年の夏は寒暖の差が激しく、皆様が体調を崩されていないか心配でおりました。

うりずんのご利用者様も体調を崩す方がいらっしゃいました。この台風の時期は気圧の変化により発作や喘息を起こしやすく、体調を崩される方がいます。ご利用者様の中には、体調を崩すと入院する方もいます。そのため、普段からご利用者様の身体の変化には十分注意を払う必要があるのです。

介護職員もご利用者様の体調の変化には敏感で、私が教えられこともたくさんあります。職種に関わらず、ご利用者様と過ごす時間が長くなる程、ご利用者様がサインを教えてくれるからです。

＊

これからも色々なサインを教えていただけるように、ご利用者様との時間を大切に過ごして参ります！！

日中一時支援事業

●平成25年7月～9月のご利用状況　（人）

7月	8月	9月	合計
77	70	66	213

＊ いずれも延べご利用人数です

●平成25年7月～9月のご来所状況　（人）

	7月	8月	9月	合計
見学者	19	8	3	30
ボランティア	0	0	0	0
計	19	8	3	30

●現在の登録状況……25名
＊ 登録ご利用者の年齢 ……1歳～20歳
＊ 現在契約準備中の方 …… 0名

居宅介護事業

●現在の登録状況…… 3名
＊ 現在契約準備中の方 …… 0名

※詳細につきましては、ひばりクリニックHP「うりずん活動報告書」をご参照ください。

うりずんの仲間たち

名前：上澤ゆいさん（ゆいちん）
学年・年齢：のざわ特別支援学校小学部５年生　10歳
好きなこと：音楽鑑賞、楽器をたたく事、Wiiのたいこの達人
嫌いなこと：突然の大きい音、小さいお友達の泣き声でつられて泣くから一人ぼっちは泣いちゃいます。
うりずんてどんなところ？：
たくさんのお友達がいて、楽しく遊べるところ。
最後にメッセージ：
いつも楽しく過ごしている様で、家に帰って来てもニコニコと笑顔がたえないです。娘の笑顔は私にとってなによりの喜びです。いつもありがとうございます。

名前：大野唯さん
（ゆいちゃん、ゆーたん）

学年・年齢：４歳
好きなこと：お散歩、おかあさんといっしょ（Eテレ）見ながら歌うこと、２階のパパの部屋で過ごす事、絵本を読んでもらう事
嫌いなこと：体操、ストレッチする事
うりずんってどんなところ？！：
いろんな歌をうたったり、楽器にふれたり季節に添った行事や工作をしたり、色々な体験ができて、とても楽しい場所。
最後にメッセージ：
髙橋先生をはじめ、うりずんのスタッフのみなさん、ひばりクリニックのみなさんにいつも温かく迎えていただき本当に安心して預けさせていただいています。これからも、よろしくお願い致します。

チャリティーコンサート開催

こんにちは！Tinyです。

障がいのある子どもと家族の支援のためのチャリティーコンサートを、９月22日（日）に無事開催することができました。326名をお迎えし、内容的にもご満足いただき大成功でした。本当に有難うございました。

これまで機会がなかった方々もうりずんやTinyのことを知ってくださり、会場が一体となって、親しみやすい形で一流のジャズ音楽を愉しみました。

＊

当日の様子を、来場者アンケートの一部をご紹介する形でお伝えします。

●楽しめました。久々の生ジャズ、長生きできそう。
●生まれて初めてジャズコンサート。とても力強く驚きました。「うりずん」の紹介もあり、身近でこういう活動をされていることを改めて知りました。
●素晴らしいコンサートをありがとう。力がわいてきました。
●こんな本格的なプロのジャズを聴いたのは初めて。本当にすばらしく堪能しました。
●とても楽しく聴けました。ステキな時間をありがとう。

▲学生ボランティア

Tiny隊の方達も笑顔で声をかけてくださり、とても感じ良かったです。これからも頑張って。

豊田チカ＆小山太郎トリオ

●これだけのコンサートをチャリティーで行うのは、とても労力が必要だったと思う。やり抜いたスタッフの方の情熱に頭が下がる。そんな思いも交えながら、心に響く音でした。自分の気持ちに素直で一生懸命でありたい。
●とてもすてきな演奏。また、Tinyの活動、うりずんの活動がわかり、とてもよかったです。
●とっても素敵でした。パワフルであったかくて、とっても癒されました。涙が出たり、元気が出たり。
●素晴らしいの一言に尽きます。企画された皆さまのご尽力に心から敬意を表します！
●毎日の生活の中で大変な思いをしている子どもたちの心を「ビート・ザ・ブルース」で晴れやかに吹き飛ばしてほしい。これからもTiny、うりずんの素晴らしい活動に声援を送りたい。

❤Tinyという小さなグループには大き過ぎるイベントでしたが、多くの皆さまの多大なご協力とご支援に支えていただきました。たくさんの素晴らしい出会いがあり、今後に続くつながりができました。この場をお借りして、心からの感謝と御礼を申し上げます。

今後も、障がいがあってもなくても一人ひとりが自分らしく活き活きと輝ける時間や場が増えていくよう、今回の経験を生かしつつ、地道に活動を続けていきます。

※コンサートの収益金３８万９,９１２円はすべて障がいのある子どもと家族のために（そのうち４分の３はうりずんへ）寄付致します。

（Tiny代表　土沢　薫）

みんなの作品

ヨーヨー釣り

風鈴

大きな赤とんぼ

看護師・介護士募集中

●うりずんでは、看護師・介護士を募集しております。
障がい福祉分野を経験された方やこれから経験したい方で、うりずんの事業に関心のある方…是非うりずんで一緒に働きませんか!?

事業内容　医療的ケアが必要な子どものレスパイトケア、ホームヘルプなど。訪問看護に関心のある方もご一報下さい。

詳細はうりずんまでお問い合わせください。スタッフ一同心よりお待ちしております。

連絡先▶☎028-601-7733（水・日・祝祭日はお休みです）

編集後記

秋と言えば、スポーツの秋、読書の秋、実りの秋、食欲の秋ですね!!
皆様は、何の秋ですか？
お昼前にお腹がグ～となる私は、もっぱら食欲の秋です。
うりずんでは、季節を感じられるような楽しい遊びを考え秋を満喫しています。
この通信を通して皆様にもたくさんの笑顔をお届けできるように頑張っていきたいと思います。
これからも皆様の温かいご支援宜しくお願い申し上げます。

佐藤英治

URIZUN
うりずん通信・テレマカシー
第７号　2013年10月20日発行
http://hibari-clinic.com/urizn/index.html

《編集・発行》特定非営利活動法人 うりずん
〒321-2118　栃木県宇都宮市新里町丙357-14
TEL：028-601-7733　FAX：028-665-8899
Mail：urizn@hibari-clinic.com
《デザイン・印刷》デザインスタジオ　アクセス

NPO法人うりずん寄付者名簿（敬称略）　平成25年7月1日～9月30日（到着分）

ご寄付　427,740円をいただきました。ご支援ありがとうございました。

＊掲載順は都道府県の50音順になっております。

■一般寄付者　延べ34名（うち匿名希望　7名）

栃　木		宇都宮市	デイサービス　サン大谷	日光市	手塚　和江	新宿区	目白聖公会婦人会
宇都宮市	天知　　稔		奈良クニエ	千　葉		文京区	山崎　展子
	金子　洋子		増淵　美樹	千葉市	櫻井　開之	町田市	横手　貴子
	小森谷浩明	栃木市	（有）ヴィーヴル総研	印西市	ウィングヒルチャペル	東大和市	大塚　孝司
	斎藤　公則	日光市	加藤　浩治	浦安市	ヴィセンテ イトウ ミユキ	兵　庫	
	三條　安子		小池　利恵	東　京		姫路市	塩見　耕平
	五月女浩之		小石　光子	練馬区	遠藤　頼子	福　岡	
	成澤　哲夫		佐藤　勇介		鈴崎　卓哉	福岡市	二ノ坂保喜

■個人賛助会員　34名（うち匿名希望　5名）

茨　城		宇都宮市	多門　　孝	日光市	福田　直美	練馬区	鈴崎　卓哉
水戸市	秋根　　大		成澤　哲夫	大田原市	三浦知津子		遠藤　頼子
栃　木			益子　郁子	壬生町	君島　充宣	岐　阜	
宇都宮市	青木　秀子		増淵　美樹		松野　直之	岐阜市	纐纈　栄司
	天知　　稔	栃木市	石河　不砂	埼　玉		岡　山	
	大泉　和也		永井　紀美	新座市	山丸　淳司	岡山市	片山　泰伸
	小荷田忠幸	下野市	茂木　康一	東　京		兵　庫	
	金子　洋子	日光市	小池　利恵	中央区	ダルモーロ　裕子	姫路市	塩見　耕平
	五月女浩之		小石　光子				
	高野　博子		手塚　和江				

■団体会員　3団体

栃　木		宇都宮市	栃木トヨタ整備（株）
宇都宮市	トゥルーライフ（株）ぴゅあ	下野市	つるかめ診療所

お知らせ

5月から会員の更新が始まりました。

＊うりずんは、お陰様で2013年4月末で２事業年度を終え、2013年5月より３事業年度が始まりました。今年度の賛助会員になってくださった方、ご寄付をくださった方にはうりずん通信テレマカシーをお送り致します。

今後ともご支援くださいますようお願い申し上げます。　（理事長　髙橋昭彦）

ご支援のお願い

事務処理上の関係で大変恐縮ですが、必ず賛助会員・寄付申込書をうりずん宛にＦＡＸまたは郵送でお送りください。

用紙はホームページ（http://hibari-clinic.com/shiryo_box/file/urizun_kifu.pdf）に掲載しております。（または、ＦＡＸでご連絡いただければ、用紙を郵送いたします。）

入金ならびに申込用紙をこちらで確認できた後に、領収証をお送りさせて頂きます。

【記入上のご注意】

必ず、申込者のお名前、ご住所、申込内容ならびに金額、匿名希望について記入していただきますようお願い申し上げます。

○賛助会員のお申し込みの場合

個人年会費　または　団体年会費　のどちらかを選択してください。

○一般ご寄付のお申し込みの場合

① 一般寄付（使途自由）　② スロープ車の購入
③ 子どもと家族のための地域拠点整備
④ 外出支援（修学旅行など）
の中から一つを選択してください

【各種振込先のご案内】

※振込み手数料は別途ご負担をお願い致します。

ゆうちょ銀行＜ゆうちょ銀行からのお振込み＞

□座番号：00110-4-441471
□座名：特定非営利活動法人うりずん

その他の銀行＜ゆうちょ銀行以外からのお振込み＞

ゆうちょ銀行　〇一九店（ゼロイチキュウ店）
当座：0441471

●シンポジウム報告　　髙橋 昭彦

「地域生活　重症心身障がい児本人、家族、きょうだいへの支援」

9月27日、宇都宮市で開かれた第39回日本重症心身障害学会（下泉秀夫会長）の公開シンポジウムに参加した。

シンポジウムは、司会の島田療育センターはちおうじの小沢浩さんの話で始まった。

ある重症心身障がいのある男の子のお父さんが急に亡くなった。お母さんは、小沢さんの診察室で「なんで私ばかりこんなひどい目に合わなければならないのか」と泣き崩れた。その時、男の子が笑っていた。その笑顔を見てお母さんは生きようと思った。お母さんは、男の子が生まれた時、その子と死のうとした。するとお父さんが「俺がお前らを幸せにしてやるから、絶対死なせない」と言った。そうして生きてきたのに、お父さんが死んでしまった。でも、今はその男の子にお母さんが救われている。昔も今も、親の思いや悩みは何も変わっていない。子どもたち、家族の素晴らしさをどう伝えていくのかが大切であると小沢さんは語った。

私からは、「医療的ケアが必要な子どもの日中レスパイトケア」についてお話した。うりずんができるまで、そして日中預かりの課題として、キャンセル率の多さ、平日が少なく土曜日と長期休暇は利用が多くなること、送迎の困難さなどについてお話し、実現可能なビジネスモデルを作るためうりずんがNPOになったこともお伝えした。

那須町の訪問看護ステーションりんりんの鈴木亜矢子さんからのお話は、「家族で大切な時間を過ごすために」がテーマだった。安定した在宅生活を継続するためには、病状の安定と、がんばらない育児、そして本人家族みんなが満足できること、日々の生活を送ることが大切である。家に暮らすだけでどんどん元気になることから、その在宅に働く不思議な力を「おうちパワー」と鈴木さんは呼んでいる。

町田市の生活介護（デイサービス）事業所、花の郷の看護師、関根まき子さんは、「通所施設になにを求めますか？　花の郷で大切にしていること」と題して、少しでもご本人が家族の一員として豊かに家族と過ごすために、本人が通いたい施設になろうという取り組みについて話された。花の郷は、18歳以上の人が通う。施設の特徴として目を見張ったのは、送迎保障。朝になると、送迎車10台が迎えに走る。「家族が送迎できないと通所できないことは本人にとって不利益である」というポリシーで、今では、吸引が必要な人も送迎できている。また、花の郷では、ひとりひとりの食べる力に合わせて食事の提供をする形態食にも力を入れている。

心学会シンポジストの皆さん（左から稲森さん、小沢さん、髙橋、関根さん、鈴木さん。餃子パーティ後の宇都宮駅にて）

東京医科大学病院の臨床心理士、稲森絵美子さんは、「重症心身障害をもつ子どもと家族とのコミュニケーション」についてお話をされた。在宅で暮らす重症心身障がい児の中には、言葉でコミュニケーションをとることが難しい子どもがいる。しかし、目の開き具合、微妙な手の動き、顔色や心拍数などを通して周りとコミュニケーションを取っている。本人の気持ちを代弁して一人二役で話をする母親。もっと子どもの意思を受け止めたいという親の思い。子どもは周りを元気にするパワーを持っている。子どもの気持ちを読み取ろうとするその時、その人と子どもの間にコミュニケーションが生まれる。

＊

もうひとつ、この学会で嬉しい出来事があった。うりずんを始めるきっかけとなった研究事業（在宅医療助成勇美記念財団2007年度）で、プロジェクトメンバーで視察に訪れた千葉リハビリテーションセンターの陽育園（現・愛育園）園長の石井光子さんとの再会だった。石井さんから教わった「安全・安心・安楽」、つまり安全に預かることで親が安心する、それだけでなく、本人にとっても楽しい（安楽）ことが大切であるとい考え方は、今のうりずんの礎となっている。

石井光子さん（右）と髙橋

素晴らしい方々とご一緒することができたことに感謝したい。

おいしいもの紹介「モンブラン」

今回は、宇都宮で根強い人気のあるコボリ洋菓子店の「モンブラン」です。

コボリのモンブランは、チョコクッキーのお皿にスポンジ、生クリーム、砕いた栗入りババロア、栗ペーストを絞り袋であしらい、生クリームと流線型のチョコが可愛くトッピングされているという手の込んだものです。フォークの入れ方によって、いろんな味わいが楽しめます。

モンブランをいただくと、そのお店の味がわかるなんて偉そうなことを考えていたのですが、ケーキが好きな知人Ｓ氏の家を訪れたときに、「そうだそうだ！」と意気投合した思い出があります。そういえば、Ｓ氏の住む松山のモンブランもなかなか美味でした。

これがコボリのモンブラン！

【お店情報】
コボリ洋菓子店
（宇都宮市滝谷町）

※このコーナーは、各地のおいしいものを、主観的なコメントでご紹介するものです。随時、情報やレポートは募集いたしますが、採否はお任せください。

（髙橋 昭彦）

NPO法人うりずんでは通信発行をご支援してくださる協賛企業様を随時募集しております。

「うりずん通信・テレマカシー」は年４回の発行となります。１回の発行費用に、印刷・郵送代などで15万円ほど必要となります。（1口2万円）

そこで、広告代として通信発行をご支援していただける協賛企業様を募集いたします。

次号掲載のご希望の方は、12月中旬までにNPO法人うりずんまでご連絡ください。皆様方のご協賛・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

協賛企業様
あなたのキャリアにエールを
KEEPCARRIÈRE
キープキャリエール